



Title	生みの悩みより未来の光へ : 保健予防部会
Author(s)	西, 滋夫
Citation	大阪公衆衛生. 1958, 1, p. 18-18
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84785
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

部会ノート

生みの悩みより未来の光へ

—保健予防部会—

結核問題はこの部会の最重要課題であり、厚生省の結核撲滅10カ年計画に即応する意味からも当然検討すべきものとする。勿論この課題は今日まで屢々討議を重ねられてはいるが、なお追求すべき余地は残されている。とはいえ、複雑多岐を極め何から取り上げるべきか決定しかねた次第であるが、まず結核患者の登録管理及び家庭訪問基準の問題をとり上げ第1回討議会を2月14日阪大医学部において開催したが府、市、保健所、大学、医師会などから多数の参加を得て、活発な討論が繰り上げられた。今後何回かの討議により管理方式ないしは訪問基準の確立を期している。

乳幼児部門では未熟児問題に取組む運びとした。小児科臨床ではここ数年来、未熟児に関する研究が進展し、次々と未熟児センターが生まれ、新発見が発表されつつある。基礎医学の領域においても奇形の問題と共に着々と検索が進められている。しかし衛生行政面では一般的には僅かに不十分な妊婦保健指導と乳児保健指導が行われているに過ぎない。特に大阪地方では保健所における未熟児対策は数保健所を除いては未だしの感が強い。

勿論、未熟児問題はその出生原因の究明とその予防が最重要問題であり、かつ我々の希望する窮極の目的であることは言を俟たない。妊娠に及ぼす各種の因子を基礎医学、臨床医学、あるいは統計学的に追求することが必要である。基礎、臨床面はさておき、統計学的ないしは公衆衛生の面からの検索は余りなされていない様である。これらも我々に課された重要な命題と考える。

また一方、既に生れた未熟児に対する公衆衛生的措置—行政面からの未熟児対策—も緊要のことと考えられる。保健所と未熟児センターとの関連についても検討すべき問題である。

幸い本年4月児童福祉法が改正されて、未熟児出生については保護者から保健所長に届出ることになり、ようやく行政的にも取り上げられた。しかし今日、保健所においてこれに対して如何なる措置をとるべきか、保健所が未熟児の管理並びに保育指導をなすべき使命を負うとすれば保健所の医師、保健婦の再教育の問題その必要人員の確保及び担当範囲、未熟児センターの不足等は直ちに解決すべき命題である。医師会、助産婦会等との連携い必要であろう。更に保護者からの届出がスピーディにかつタイムリーに行われるか—届出義務者の検討—も今後の問題となる。

即ち我々の部会でも先ず保健所における未熟児対策を研究課題とした所以である。しかし今直ちにデータを集めることも難しいと考え、その機運をたかめ、この問題に関心を深めさせようと講演会の開催を立案し、公衆衛生協会、母子愛育会共催、明治乳業協賛の下に3月15日、大同生命ビル大ホールで高井市大医学部教授の講演及び映画の会を催し満場の参加者を得て盛会裡に幕を閉じたが、普及宣伝の意義は大きいと自負すると共に、これを出発点として未熟児問題が保健所行政面で検討されることを願い、近い内にこれについての討議会を開きたいと希望している。

最後に疫学の問題であるが、これも多方面にわたり大きい問題であるが第一に予防接種について検討することにした。予防接種の普及と伝染病発生との関係を論ずるとき、予防接種の方法、その接種率が前提となることは明かである。しかるに我國の接種率は果して正確といえるだろうか。各種統計数値を見るとき納得できない点が屢々見受けられる。これらはその統計資料の取り方に問題がある様に感じられる。また予防接種が果して能率的に行われているかどうかの検討も大切である。従って先ずこれらの問題について第1回討議会を5月16日阪大医学部で開催した。

以上、発足以来開催した討議会は夫々第1回会合であるが、回を重ねると共に次第に充実した意義ある業績の発表も次第に増加し、終には各課題に対して一定の結論が出され、行政面に生かされることを祈りつつ幹事一同も努力するつもりであるので関係者各位のご協力を切に願います。

なお老人衛生、栄養、虚弱児対策、妊産婦、性病、寄生虫、トラホーム、その他多くの課題がこの部会で取り上げるべき問題として残されているが、生みの悩みを述べ未来の光を求めつつ稿を閉じる。

(部会長 西 滋夫)